

地熱水・天然ガス利用種苗生産施設

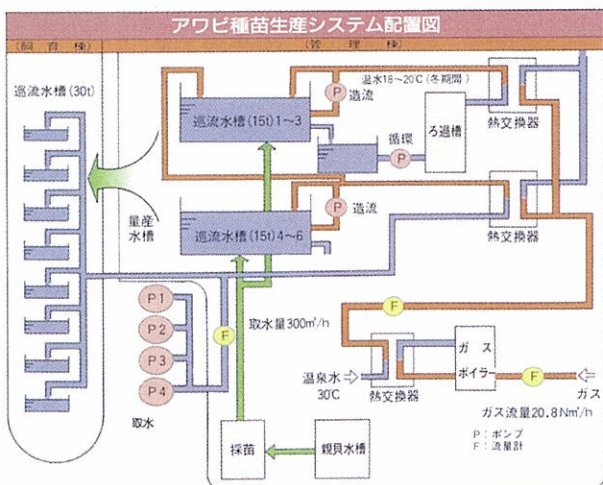
研究会 種苗生産システム

種目 地域環境利用技術の開発（地熱利用型）

我が国は、季節による海水の温度変化が大きく、これが種苗生産に制約を与え生産量の増大に対し、障害となっている。このため種苗生産の安定性と、その増大を図るには、用水の水温制御が不可欠となり、これが種苗単価を押し上げる要因となっている。

本施設は、秋田県象潟町にアワビの種苗研究施設と生産施設とを併設したもので、海水加温用に場内の温泉井からの地熱水及び天然ガスを利用し、更に海底ろ過設備や生産効率の高い巡流式飼育水槽等による研究開発も併せて行い、成育の促進と省エネルギー・省力化による種苗単価の引下げを目指すものである。

なお、本種目は平成4年度で施設の建設を終了し、平成5年度及び6年度に種苗生産の実証実験を実施し平成7年度から秋田県において放流用種苗生産を実施する予定である。



(秋田県 パンフレットより)



事業概要

●施設の仕様

項	目	内	容	
研究及び生産計画	業務形態	放流用種苗育成研究及び生産		
	生産品目	エゾアワビ		
	年間生産量	100万個		
	生産サイズ	25～30mm		
	生産工程	親貝育成・採卵・採苗・種苗飼育・放流		
	生産期間	12ヶ月		
飼育条件	アワビ	水温	18～20℃	
		pH	8.0～8.3	
		最適溶存酸素濃度	飽和度80～100%	
		水質浄化	アンモニア除去・水槽底残留物除去	
	附着珪藻	餌料	附着珪藻（初期），配合飼料（中・後期）	
		光合成	光・炭酸供給	
		栄養塩類	液肥供給（N、P）	
		培養器	水槽内に珪藻附着板設置	
	浮遊懸濁物捕捉	動物性プランクトン増殖防止		
設備	取水設備	ろ過先端	75m ³ ／1基×4基	
		海水取水路	250A×4基	
	温泉井	地熱水	500m ³ ／日，30℃	
		天然ガス	500Nm ³ ／日，8222Kcal／Nm ³	
飼育水槽	試験水槽	10m×6台（巡流水槽）		
	生産水槽	20m×8台（巡流水槽）		
	親貝水槽	1.7m×4台		
付属システム	循環ろ過，O ₂ 供給，CO ₂ 供給 底掃除造流，珪藻培養、液肥供給 モニタリングなど			

- 平成4年度参加会員……*(株)東京久栄、ヤンマーディーゼル(株)、日幸工業(株)、大成建設(株)、鹿島建設(株)
*幹事会員

- 試験協力機関……秋田県農政部水産漁港課